



ありて日あ鶴は若御承
 訣式當日の所話願う感
 動的に在何れも付別紙
 假印刷の通相綴り次第
 に掲載改定存あり少々極

先には附け加へたる節も

有るは子付不取敢内覽

と供は何卒掲載の義

由許と下交を願とす

由差支有るは個所へ改削

可俵あり印刷差迫居候

子付取色も由高覽し

東借あり 敬具

実業之日本社

九月五日 石井勇

再前

伯爵大隈重信殿

閣下

